

# タイムボカン

<https://majingai.x.fc2.com>

『タイムボカン』（英語表記：Time Bokan）は、1975年10月4日から1976年12月25日までフジテレビ系列で、毎週土曜18:30 - 19:00（JST）に全61話が放映された、タツノコプロ制作のテレビアニメ。

## 【概要】

『タイムボカンシリーズ』の第1作目。本作品の企画は、ミニカーを売るためのアニメという発想で、1966年のアメリカ映画『グレート・レース』の影響を受けたカーレースものが源流である[3]。1972年頃には「時空を超えた善悪のタイムマシンによるコミカルな競争」という本作品の企画が決定。『タンマー大混戦』や『ちよよいのタンマー』『すっとびタンマー号』などのタイトルがつけられて、その時点でメカブトンのデザインは出来上がり、15分のパイロットフィルムを制作。このパイロットフィルムは第1話やオープニングに一部流用された。パイロットフィルムでの淳子は金髪だったため、テレビシリーズでは青の髪だった淳子の髪はその流用されたカットで金髪になっている。タツノコプロでは当時、ハードなアクションものが続いたためギャグものを、ということだったが、ギャグにしてはタイムトラベルやメカの要素などが盛り込まれた本作品は、監督の笹川ひろしによると中途半端な印象を与えたといひ、スポンサーがつかずに放映決定まで3年を要することになった。主人公の名前は当時の人気アイドルから取られ、野口五郎と天地真理から五郎と真理だったのが、放映が決定するまで3年の間、アイドルの人気の変遷から、真理が桜田淳子から取った淳子になっており、放送の決定後、タイトルが『タイムボカン』と改められた。本作品は後のシリーズ作品のように、主人公の2人もしくは1人が、変身してヒーローにならない唯一の作品である。丹平役の太田、淳子役の岡本、チョコ坊役の桂は次作の『ヤッターマン』においても主人公キャラを担当した。丹平と淳子およびマージョは2つの山形の隆起がついたヘルメットを常に着用している。この隆起のモチーフは、キャラクターデザインを担当した天野嘉孝によれば、ブラジャーである。マージョ、グロッキー、ワルサーの「悪玉トリオ」には決まった名称は無いが、後年の出版物では便宜上「マージョー味」と呼ばれている。木江田研究所での会話をあの手この手で盗聴し、出発した丹平達の後を追跡、木江田博士からダイヤモンドの場所を聞き出そうと狙う。丹平たちと博士が再会した3クール目以降は、ダイヤモンド探しの話が中心となるが、第36話や第46話などの様に、丹平たちがダイヤモンド探しとは別の目的で時間旅行をし、それを盗聴した三悪が「その場所にダイヤモンドが有る」と速断して後を追うという展開も時々行われた。当初は2クール全26話を予定。平均視聴率19.0%、最高視聴率26.3%（タツノコプロが所有する資料による）と好評を博し、まず2クール、その後さらに1クール延長され、最終的な放送期間は全5クール（全61話）となった。当初の目的の一つだった木江田博士と中盤で再会するのはその名残である。またこの好評ぶりにより、本作品の終了後も「タイムボカンシリーズ」として、基本的な設定やコンセプトを共有した作品群が世に送り出されていくこととなる。

## 【ストーリー】

ある日の事、科学者・木江田博士は自ら開発したカブトムシ型タイムマシン「タイムボカン」の試運転に出かけたが、程なくして帰ってきたのはオウムのパラ助と世界最高級の宝石「ダイヤモンド」だけで木江田博士の姿はどこにも無く、行方不明になってしまう。博士の孫娘・淳子と博士の助手の丹平はコンビを組み、どこかの時代に消えてしまった博士をタイムトラベルしながら探す事を決意する。一方博士をスパイしていた悪玉トリオ・マージョー味は博士のいるところにダイヤモンドが存在すると睨み、タイムボカンを追いかけ、妨害するのだった。その後、木江田博士は現代に帰還し丹平たちと再会する（第27話）。それ以降は、悪玉トリオのダイヤモンド入手の阻止や、パラ助の故郷探しなどの旅をする。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

# 1975年



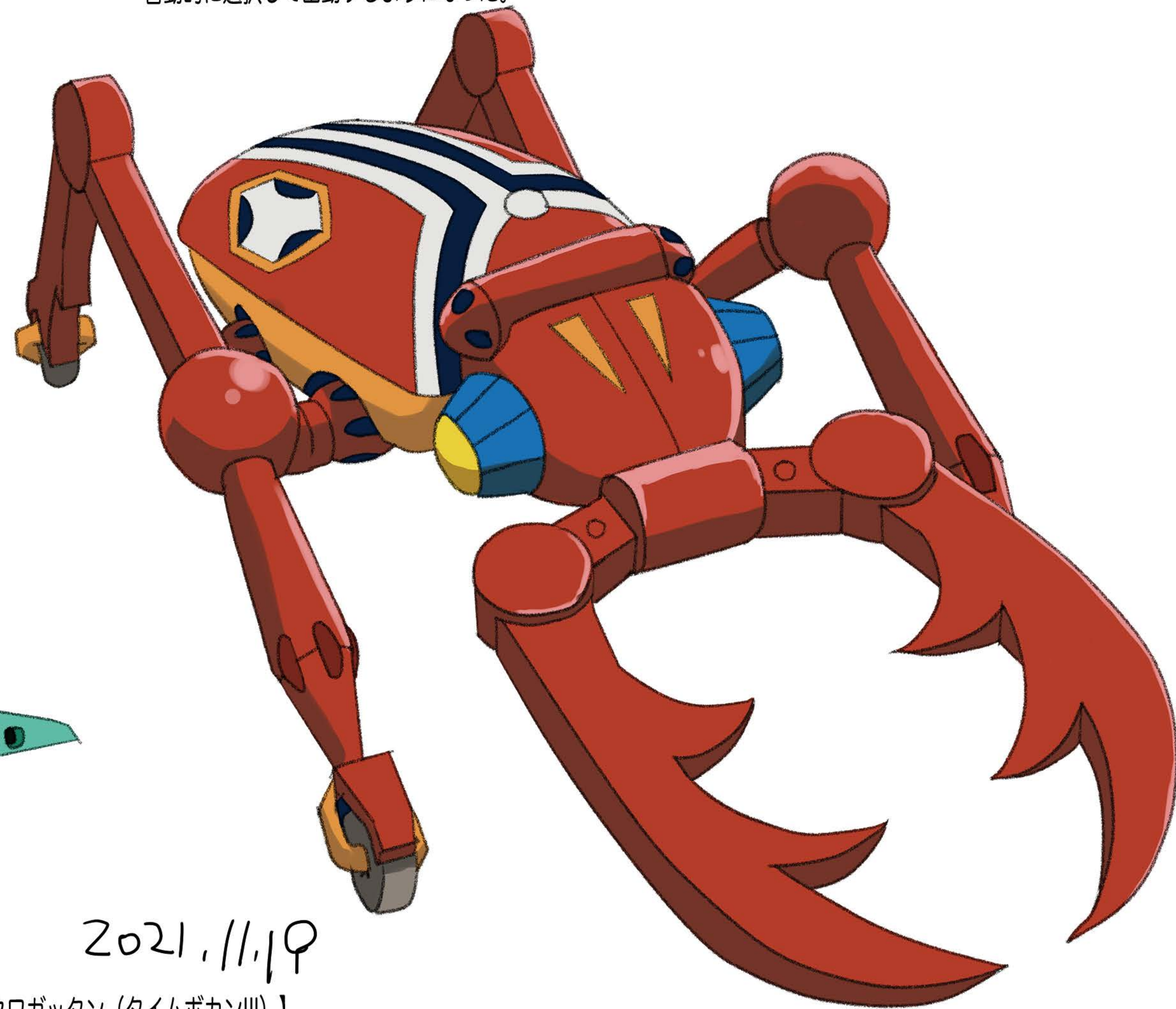
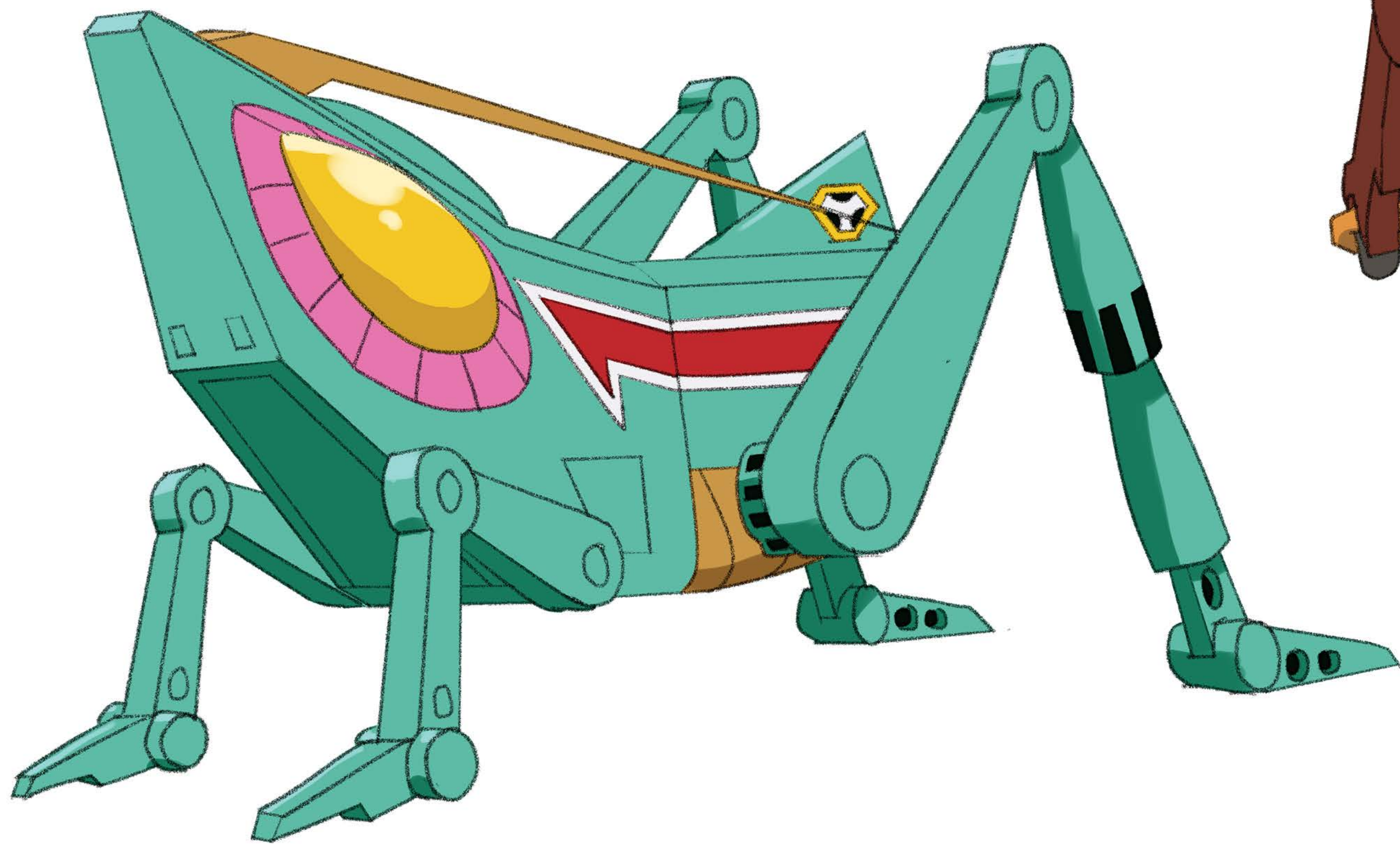
## 【タイムメカブトン（タイムボカン）】

カブトムシ（雄）型メカ。ボディは青色。ツノの先は回転させることが可能で、ドリル状に使用して地中を掘り進める。他の二機とは異なり足の類は無く、通常は機体下部から展開する車輪によって地上を移動する。飛行時にはオープニングの1シーンにも見られる通り車輪を機内に収納後、本物のカブトムシの様に前翅を展開し、羽の下の本体より翼を出して飛行する。背中にはテントウムシ型の小型飛行機・テントウキ、腹部にはヤゴ型の小型水中探索機・ヤゴマリンが搭載されている。時間移動の際のエフェクトは上下に波打ちながらの前進。製造直後はコクピットを含めた機内全体が重力異常状態に陥ってしまい、乗員及び搭載物に強烈なGがかかる上機内を無軌道に移動させられることになった。これはオープニングで毎回の様に描かれたので非常に印象強い。木江田博士の帰還後に機体が整備されると共に重力異常状態が改善されたらしく、この様な描写は無くなっていった。動力源は後部エンジンユニットに搭載される巨大乾電池状のエネルギーパック2本らしい。主な武装は回転させた角と角の基部から発射するミサイルなどがある。戦闘では主に羽と角が破壊される事が多い。搭載機であるテントウキは、機体の下から円筒形のパーツを展開、その基部に備え付けられた車輪によって陸上走行もできる。その他、羽の星の部分からマニピュレーターをはじめとする様々な道具、あるいは武装を展開することができ、本作品と同じくタツノコプロ制作のアニメである『ガッチャマン』における、G-4号のような玉手箱メカ（『ガッチャマン』の企画書の記述より）振りを見舞った。テントウキは同番組の前身企画における主役機「タンマータンク」のデザインを流用したもの。母艦であるメカブトンの登場回数が多いこともあり、各機に搭載されたメカの中でも活躍度は随一。オープニングにて単体でのタイムワープが可能のような描写があったが、作中ではそのような機能はないとされた。メカブトンの呼称は作品中ではほとんど使用されず、単に「タイムボカン」や「タイムボカン」と呼ばれることが多かった。



# 1975年タイムボカン

【タイムボカン (タイムメカブトン/タイムドタバタン/タイムクワガタン)】  
昆虫を模したデザインのタイムマシンメカ群。第1話で丹平が「タイムボカンはメカブトン、ヤゴマリンテントウキの3機から成る」と説明していた通り、メインとなる大型(母艦)メカの中に2機の小型(機動)メカが搭載されたスタイルが基本である。タイムメカブトンとタイムクワガタンは木江田博士が作り上げた。タイムドタバタンは過去の世界を征服するために来襲した昆虫人たちが乗っていたメカを改良したものである。物語前半はメカブトン1機だけだったが、木江田博士帰還後にはドタバタンと、木江田博士が新たに建造したクワガタンの3機の中から目的地により、最適なメカをコンピューターが自動的に選択して出動するようになった。



2021.11.19

【タイムドタバタン (タイムボカンII)】

ショウリョウバッタ型のメカ。ボディーは緑色。第27話で木江田博士をさらった昆虫人が現代に残した(昆虫人はマージョー味の攻撃で全員死亡)タイムマシンを博士が改良し、第29話よりタイムボカンメカ2号として使用した。飛行する際には足を後ろに伸ばす。主な武装として、頭部に当たる部分から発射するレーザー砲を装備している。シャクトリムシ型の小型偵察機・シャクトリン、ホタル型の小型作業用ヘリ・ヘリボタルが搭載されている。時間移動の際のエフェクトは横回転(前期OPでのテントウキのエフェクトパターンと同じ)。物語後半では数多く使用され、最終話で使用されたマシンもドタバタンだった。戦闘においては脚部が必ずと言っていいほど敵のターゲットにされ、破壊された。ただし本体腹部にはキャタピラが内蔵されており、脚が折れても移動に支障は無い。第51話では宇宙(月)に飛行したこともあり、その際はブースターとしてドタバタンの本体上部に装着された、ドタバタンと全長がほぼ同じ小型ロケット(木江田博士によると「サターン」という名前)を補助的な動力として、博士の屋敷の窓面を半開にした部分から宇宙空間まで飛び出していき、適度なところで切り離してからタイムトラベルに入った。宇宙空間でのタイムトラベルは通常のタイムトラベルに比べて大変なことが多いらしく、メカブトン初期のようなことにはならなかったが、若干の重力異常(丹平曰く「いつもよりすごい振動」)と思しき状態になっている。マージョには「タイムドットリバッタリ」と呼ばれている。

【タイムクワガタン (タイムボカンIII)】

クワガタムシ(雄)型のメカ。ボディーは赤茶色。現代に帰還した木江田博士が製作した。第29話で配備され、第33話で初出動した。ドタバタンのような脚を持ち、脚先にはメカブトンのように車輪も搭載している。飛行時には前翅が展開し、竹とんぼ状のローターを持つ大型ヘリコプターとなる。ハチ型の小型偵察メカ・ビーチクリン、ダンゴムシ型の小型地上進行用メカ・ダンゴロリンが搭載されている。時間移動の際のエフェクトはメカブトンと同じ上下波打ち型だが長い後肢のせいで前後回転に錯視される事がある。ナレーターも「パワーが強い」と言及しており、仕様からも分かる通り、他のタイムボカンのノウハウが全て注ぎ込まれた高性能メカのはずだが、移動の要である四肢とプロペラが貧弱であり、戦闘ではよく破壊される。戦闘では巨大な顎を武器として使用しており、マージョー味に逆襲する際にもこの顎によって何度も窮地を脱した。回を追うにつれてクラッシュが激しくなったメカブトンやドタバタンよりも外部の損傷が少ない。竹とんぼを模しているからか、ローターは前翅が展開した一つしかないが、後部に噴射ノズルがあるので飛行できる。マージョからは「クワガタッタンコン」「クワバッタリ」、ワルサーからは「クワガタリンコンコン」「クワベッタラツケ」と間違われ、ナレーターまで「タイムクワガタガタリ…いや失礼」(第59話)と間違われるようになる。  
出典:フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



# タイムボカン 1975年

【丹平 (たんぺい)】声 - 太田淑子

本作品の主人公。木江田博士の助手として働く少年。中学1年生の13歳。メカに強く、運動神経も抜群であり、博学多才で歴史にも強い。勇敢な熱血漢で純真だが、美少女に弱く、少しおっちょこちょい。淳子、チョロ坊、ペラ助からは「丹平ちゃん」と呼ばれている。破損したタイムボカンを修理することが出来るらしく、台詞の中にもそれを思わせるものがある。また格闘戦にも強く、第13話でワルダー王（アトランティスの独裁者）配下の兵士や、第36話でヒヒー族の兵士などを、素手で倒したこともある。苦手なのは注射。親兄弟や通学などの様子は描かれていない。

【淳子 (じゅんこ)】声 - 岡本茉莉、横沢啓子 (34、35、36話)

本作品のヒロイン。木江田博士の孫娘。小学5年生の10歳。博学多才な大和撫子。祖父思いの優しい娘である。面倒見が良くみんなから慕われている。泣き虫だが芯は強い。子供っぽい丹平を度々諫めつつも彼を信頼している。丹平が他の女性に興味を示す度に不機嫌になるが、自身も一度だけ第52話で王子様に見とれたことがある。家族は祖父以外は登場せず、小学校に通う様子や丹平以外の交友関係も描かれなかった。また、丹平と共にいつも二つのコブがある独特な形状をしたヘルメットを被りながら、専用のスーツを着ており、最終話まで2人の私服姿は登場しなかった[注釈 1]。第27話では歌も披露している。

【チョロ坊 (チョロぼう)】声 - 桂玲子

丹平が作ったロボット。知能は幼稚園児並み。初めはペラ助を敵対視していたが、次第に仲良くなった。動力源は背中中のゼンマイ。ただし、ゼンマイが切れても歩行出来なくなるだけで本体は動作可能だが、肝心な時に必ずゼンマイが切れるため、ペラ助並みに丹平や淳子の足を度々引っ張る。体長は低いものの、手足は伸縮可能で、口吻部はガスバーナーになっている。

【木江田博士 (きえたはかせ)】声 - 槐柳二

淳子の祖父。60歳。世界的な科学者でタイムボカンの試運転に出かけた際にペラ助にタイムボカンを奪われてしまい、第27話で生還するまで消息不明だった。帰還後は丹平たちと冒険に同行し、ダイヤモンドを追うものの、時々ダイヤモンド調査を丹平たちに任せて留守番したり高齢を理由に置いてけぼりを食らったりすることもある。友人の友田博士 (声 - 池田勝) がいる。

【ペラ助 (ペラすけ)】声 - 滝口順平

オウムで語尾は「だペッチャ」。博士の消息を知る唯一の存在だが、いい加減な証言が多い。唯一怖いのは妻のおタケさんで、妻から逃げたい一心でメカブトンを奪った。しかも、かなり食いしん坊であり、シュークリームが大好物。とにかく自由になりたい、もしくは料理を食べただけという、とんでもない理由で嘘の証言をして、丹平たちに無駄足を踏ませるほど引っかき回す。後半は一転おタケさんに会いたがるようになり、木江田博士発見後は丹平たちはペラ助の故郷探しに協力することになる。また、マージョ屋敷に潜入し、マージョー味がダイヤモンド探しに出ようとする一部始終を見聞きして丹平たちに知らせることがよくあった。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



2021.11.19



# タイムボカン1975年

<https://majingai.x.fc2.com>

【マーゾ】声 - 小原乃梨子  
悪玉トリオの女ボス。30歳。容姿端麗でスタイル抜群。後のシリーズの同ポジションのキャラクターと違い、仮面の類は着用せず常に素顔である。色っぽく、男などを騙し続ける。ダイヤモンドの独占を最優先しており、そのためならいかなる手段も選ばず、とりわけ丹平たちに対しては殺意さえ持っているなど、後のシリーズにおける女ボスよりも若干過激な性格。嫌いなものはヘビ、お化け、ジェットコースター、ネズミ。髪の色は金髪で、腰までかかるロングヘア。丹平たちと同じく2つの大きな隆起のついたフードを着用している。第13話からはペラ助からダイヤモンドのありかを聞き出すためのスパイとして雌のオウムの「ミミ」を飼っていたこともある。第18話では「ワルジョ」と言う先祖も登場している。自分の障害となる人物をロケットで放逐したり、第3話では陰謀[注釈 3]がばれた悔しさに、南フランスの村人を鹿メカで攻撃したり、第27話では後のタイムボカン2号となる「ドタバタン」の元来の所有者である昆虫人をアルマジロメカの光線で3体射殺するなどしている。しかし、根は純真でお茶目。最終話ではダイヤモンドが空気に触れて変質したただの石になってしまったのを見て「こんな物にあたしの全財産を使っちゃったんだよ!!」と怒り狂い、腹いせに丹平たちに最終決戦を挑むも敗れ去り、その後はショックで放心状態になっていた。そしてその日の夜に、一味はどこへともなく姿をくらました。

【グロッキー】声 - 八奈見乗児  
マーゾの手下。25歳。木江田博士の所で筆頭の助手として働いていたが、実はマーゾの命令によりタイムマシンのノウハウを盗むためにスパイをしていた。一味の元に戻った後はメカの開発を担当する。元筆頭助手ただけに天才的なメカの技術力を持つが、完成したメカはどこか作りが甘く、それが原因で敗北する事も多い。一人称は主に「私」だが、まれに「俺」になることがある。逆三角形型の輪郭に足先の長い靴のような赤い鼻と大きな出っ歯がトレードマークでワルサーからは「ヒゲらっきょう」と呼ばれたことがある。この容姿の特徴は後のタイムボカンシリーズの三悪の頭脳系キャラクター全般に、おおよそは受け継がれている。無類の女子高生好きだが、本心ではマーゾと結婚したいと思っており、一味に入った理由もマーゾに一目惚れしたからである。そのため基本的にマーゾには頭が上がらないが、メカ戦で敗れるたびに八つ当たりされるため、わずかながら反感を持っている。

【ワルサー】声 - 立壁和也  
マーゾの手下。35歳。語尾に「~まんねん」と付けるなど関西弁風の台詞を使う。一味では持ち前の馬鹿力を生かし、善玉との肉弾戦や力仕事を担当。外見とは裏腹にヘビやお化けを怖がりする一面もある。トンズラーなど後年の歴代三悪における怪力系キャラクターの礎はこの時点ですでにほぼ完成されている。また、メカの操縦にも積極的に関わる。グロッキーとともに極端な猫背。

【ナレーター】声 - 富山敬  
後のシリーズでのスタンダードスタイルは確立されておらず、「みんな、〇〇は知ってるかな?」「来週も丹平君たちを応援してね!」などのフレンドリーな語りとなっている。また、富山は劇中のゲストキャラクターの声も演じていた。  
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

2021.11.20





話数	サブタイトル	脚本	演出	作画監督
第1話	発進! タイムボカンだペッチャ	鳥海尽三	笹川ひろし	田中英二
第2話	ギリシアのズッコケ戦争だペッチャ	滝三朗	布川郁司	
第3話	恐怖の魔女狩りだペッチャ	吉田喜昭	岡本良雄 佐々木皓一	窪秀己
第4話	へんてこ西遊記だペッチャ	滝三朗	秦泉寺博	飯野皓
第5話	原始人はやさしいペッチャ	山本優	笹川ひろし	田中英二
第6話	海賊はオウムが好きだペッチャ	小山高男	岡本良雄 布川郁司	田中英二
第7話	合図はひらけゴマだペッチャ	山本優	秦泉寺博	田中英二
第8話	大登場! ジンギスカンだペッチャ	堀田史門	山田勝久	窪秀己
第9話	西部の大決闘だペッチャ	山本優	布川郁司	田中英二
第10話	かっこいい忍者だペッチャ	吉田喜昭	秦泉寺博	
第11話	インカの宝みつけたペッチャ	山本優	布川郁司	飯野皓
第12話	モナリザの秘密だペッチャ	桜井正明	案納正美 布川郁司	田中英二
第13話	大沈没! アトランティスだペッチャ	伊東恒久	岡本良雄 秦泉寺博	田中英二
第14話	ドラキュラが出たペッチャ	山本優	布川郁司	田中英二
第15話	打ち出の小づちを振るペッチャ	滝三朗	西牧秀雄	
第16話	ズッコケ! ライト兄弟だペッチャ	山崎晴哉	秦泉寺博	田中英二
第17話	ドロロン! 五右衛門だペッチャ	久保田圭司	案納正美 秦泉寺博	田中英二
第18話	急げ! 白雪姫があぶないペッチャ	山本優	秦泉寺博	田中英二
第19話	1000年後のロボット国だペッチャ	布川郁司	田中英二	
第20話	イワンはウソをいわないペッチャ	山野博	案納正美 布川郁司	田中英二
第21話	そこのけ! ドン・キホーテだペッチャ	柳川茂		
第22話	ピノキオの大冒険だペッチャ	山本優	秦泉寺博	
第23話	黄門さまはステキだペッチャ	吉田喜昭	案納正美 笹川ひろし	
第24話	牛若丸と弁慶の大決闘だペッチャ	滝三朗	佐々木皓一	窪秀己
第25話	出たぞ! ロビン・フッドだペッチャ	金子裕	布川郁司	田中英二
第26話	それ行けやれ行け宝島だペッチャ	山本優	秦泉寺博	田中英二
第27話	木江田博士を発見だペッチャ	滝三朗	案納正美 布川ゆうじ	田中英二
第28話	ジャックと豆の木大騒動だペッチャ	山本優	山田勝久	窪秀己
第29話	枯木に花を咲かせるペッチャ	吉川惣司	布川ゆうじ	田中英二
第30話	赤頭巾ちゃん気をつけてだペッチャ	山本優	秦泉寺博	
第31話	夢見るシンデレラ姫だペッチャ	伊東恒久	佐々木皓一	窪秀己
第32話	未来の象さんを守ろうペッチャ	吉川惣司	案納正美 笹川ひろし	
第33話	ビックリ! 天女は宇宙人だペッチャ	伊東恒久	真下耕一 植田秀仁	
第34話	突撃! ヤマタのオロチだペッチャ	山本優	山田勝久	窪秀己
第35話	フランケン! がまんだペッチャ	吉川惣司	布川ゆうじ	田中英二
第36話	未来はヒヒの国だペッチャ	山本優	真下耕一	田中英二
第37話	王様は裸だペッチャ	佐々木皓一	窪秀己	
第38話	桃太郎の鬼退治だペッチャ	伊東恒久	布川ゆうじ	

話数	サブタイトル	脚本	演出	作画監督
第39話	ハメルンの笛吹きだペッチャ	吉川惣司	真下耕一	田中英二
第40話	鶴の恩返しだペッチャ	伊東恒久	植田秀仁 秦泉寺博	
第41話	竜宮は最高だペッチャ	滝三朗	植田秀仁	田中英二
第42話	アパッチ谷の秘密だペッチャ	山本優	西久保瑞穂	窪秀己
第43話	かぐや姫は美人だペッチャ	滝三朗	佐々木皓一	田中英二
第44話	サルカニ合戦だペッチャ	佐藤和男	布川ゆうじ	
第45話	ジキル博士のナゾだペッチャ	平和元	真下耕一 大貫信夫	
第46話	マッチ売りの少女だペッチャ	山本優	植田秀仁	
第47話	アラジンと魔法のランプだペッチャ	真下耕一	窪秀己	
第48話	足柄山の金太郎だペッチャ	吉川惣司	大貫信夫 布川ゆうじ	田中英二
第49話	海さち山さち仲直りだペッチャ	山本優	布川郁司	田中英二
第50話	赤い靴は悲しいペッチャ	田中享		
第51話	月の世界はステキだペッチャ	佐藤和男	真下耕一 植田秀仁	田中英二
第52話	人魚姫を助けるペッチャ	伊東恒久	布川郁司 植田秀仁	田中英二
第53話	透明人間はつらいよペッチャ	吉川惣司	布川ゆうじ	みぶおさむ
第54話	地底王国のナゾだペッチャ	山本優	植田秀仁	
第55話	ピラミッドをつくるペッチャ	伊東恒久	真下耕一 大貫信夫	
第56話	イースター島の巨人騒動だペッチャ	山本優	布川ゆうじ	水村十司
第57話	ぶどう畑の宝だペッチャ	佐藤和男	秦泉寺博	
第58話	雀のお宿はどこだペッチャ	石井喜一	植田秀仁	
第59話	ぼくたちガリバーになったペッチャ	滝三朗	真下耕一	みぶおさむ
第60話	シンバットのロマンだペッチャ	平和元	秦泉寺博	水村十司
第61話	ダイナモンドを発見だペッチャ	滝三朗	布川郁司	



【タイムガイコッツ】  
グロッキーが木江田博士の所から盗んだタイムボカンのデータを元に作られた。このメカは毎回、巨大メカニマルである悪玉メカの頭部になっていた。時間跳躍の際、なぜか部品などが取り残されるのがお約束だった。メカニマルが破壊された後、タイムガイコッツがエゼクションポッドとしての役割を果たす。次作『ヤッターマン』以降のメカニックデザイナーである大河原邦男が後にデザインした『機動戦士ガンダム』のコア・ファイターのルーツとの事。コクピットの座席配置は2座平行で、マージョはその後ろにソファを置いて寝そべっている。毎回メカニマルの爆発に晒されながら、最終話で爆発の衝撃でマージョ屋敷に直撃して真っ二つに割れて破壊してしまった事を除けば、60回も爆発に耐えている。ガイコッツは悪玉メカの通称であると共に、その爆発後に残る骨型のメカの名前でもある。また、最終話でグロッキーがタイムボカンに止めを刺そうとする場面で「次回から『タイムガイコツ』」という場面がある。

- 【スタッフ】
- 製作 - 吉田竜夫
  - 企画 - 鳥海尽三、酒井あきよし、柳川茂
  - 原作 - タツノコプロ企画室
  - 総監督 - 笹川ひろし
  - 連載 - 小学館学習雑誌
  - プロデューサー - 柴田勝、永井昌嗣
  - 美術監督・メカニックデザイン - 中村光毅
  - キャラクターデザイン - 天野嘉孝
  - 石田昌久、小笠原誠紀、高野日出夫、細谷満、高野和男、徳永竜雄
  - 制作 - フジテレビ、タツノコプロ

制作の部分において「フジテレビ タツノコプロ」とクレジットされたのはエンディングのみで、オープニングは「タツノコプロ」のみのクレジットだった。(制作局がクレジットされなかったのは、タイムボカンシリーズにおいて本作品のみ)。そのクレジットの仕方は、タツノコマークが吐き出した物が「タツノコプロ」のロゴになるというもので、この演出は『新造人間キャシャーン』の前期OPや『アクビガール』でも使われていた。  
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

<https://majingai.x.fc2.com>

# 1975年 タイムボカン